



大会概要

2025 年 SUPER GTシリーズ 第4戦

大会名称

2025 AUTOBACS SUPER GT Round 4 FUJI GT 3 SPRINT RACE

開催日時

8月2日 土曜（予選 / 決勝レース1） 8月3日 日曜（予選 / 決勝レース2）

開催サーキット

富士スピードウェイ（1周：4.563km）
所在地：静岡県駿東郡小山町

同時開催レース

2025年FIA-F4選手権シリーズ第4戦・第5戦

主催

富士スピードウェイ株式会社/FISCOクラブ（FISCO-C）/株式会社GTアソシエーション

公認

国際自動車連盟（FIA）/ 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）

認定

株式会社GTアソシエーション

メディアパートナー

テレビ神奈川

後援

経済産業省 / 国土交通省 / 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟 / 静岡県小山町 / 御殿場市 / 裾野市 / 公益社団法人静岡県観光協会 / 一般社団法人小山町観光協会 / 一般社団法人御殿場市観光協会 / 一般社団法人裾野市観光協会



◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O

■ 代表

古場 博之

■ 監督

小倉 啓悟

■ スタッフ

チーフエンジニア
チーフメカニック

Mattia Oselladore
片岡 恵人

■ スポンサー

アスカ株式会社

株式会社アート買取協会

株式会社C I S

株式会社デジテックエイチピー

O I R C

朝日金属株式会社

T O N E 株式会社

株式会社マイティミズタニ

ニチアス株式会社

城東電機株式会社

学校法人高岡学園 高新自動車学校

サンディスク株式会社

ザーレン・コーポレーション株式会社

有限責任中部総合監査法人

D O B O T ジャパン株式会社

ARMS株式会社

エバー株式会社

見田工作株式会社

株式会社コスモ開発

愛知電線株式会社

岡田金属株式会社

笹原金型株式会社

株式会社ソフト99オートサービス

有限会社大和工業

M I D T O W N B B Q

大成土木株式会社

青山エレベーター株式会社

株式会社エイチアンドエフ

医療法人社団ヒロデンタルクリニック

株式会社E A S T

カトー機械株式会社

株式会社P O O L

株式会社ジョイフル設備

◆8月2日 土曜日・レース1・予選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	33℃ (GT300クラス予選開始時)
路面温度	54℃ (GT300クラス予選開始時)
予選開始	11時20分 (GT300クラス予選開始)



Team LeMans は本年度より正式にエントラント名を VELOREX とし、昨年に引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦する。同クラス参戦5年目となる今シーズンは、昨年に引き続きマシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを継続起用。チーム体制も継続し、2024シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤはこれまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今大会のSUPER GTは、通常のレース方式とは異なりスプリントレースでの開催となる。土曜日にGT500クラスとGT300クラスが混走での35周レース(レース1)、日曜日はGT500、GT300のクラス別に50分間のレース(レース2)が実施され、サクセスウェイトは共にゼロ。両日ともに決勝でのタイヤ交換も燃料補給も義務ではなく、各日ひとりのドライバーしか出走が許されないというルールとなる。タイヤに関しても2日間でドライ用の新品タイヤが5セット使用できることとなる。

各レースは予選、決勝を同一タイヤで走行することが義務付けられているため、タイヤマネージメントも重要な鍵となる。選手権ポイントはレース1、レース2ともにハーフポイントとされ、予選でのポールポジションには0.5ポイントが与えられる。ポイント獲得可能な順位は15位までと変わらない。チームはレース1にロベルト・メリ・ムンタン選手、レース2に片山義章選手を起用する。

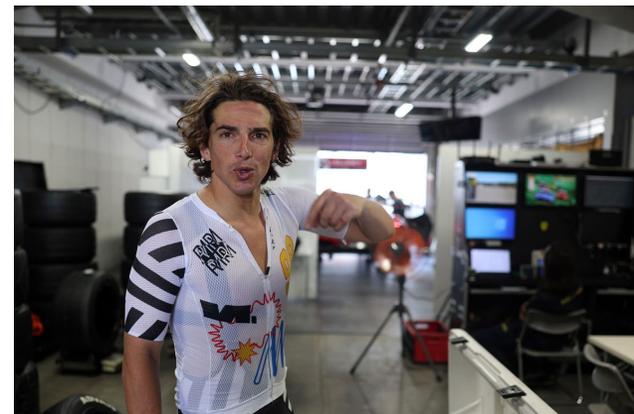
#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI レース1 予選結果：6位 (ロベルト選手)

朝8時30分からの公式練習では気温30℃、路面温度35℃というコンディションの中、6号車UNI ROBO BLUEGRASS FERRARIは、15周をこなし、ロベルト・メリ・ムンタン選手が予選用セットで全体3番手となる1分37秒335をマークした古場博之エントラント代表は「セッションの途中でドライブシャフト関係のトラブルが発生しましたが、すぐに対処し、大事には至りませんでした。持ち込みセットが決まっていたので、マシンのバランスにも問題はありません。あとは予選に向けてのタイヤ選択を悩むだけです」と自信をのぞかせた。

台風の影響が心配されたが、富士スピードウェイは快晴。11時40分から20分間の予選では、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは4周目に1分37秒547をマークし6番手グリッドを獲得した。小倉啓悟チーム監督は「もう少し上位にいけると思っていました。路面コンディションの変化が影響しました。それでも十分に勝てるポジションなので、すくなくとも表彰台を狙います」と語った。

◆8月2日 土曜日・レース1・決勝

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	34℃ (スタート時)
路面温度	57℃ (スタート時)
決勝レース開始	14時18分 (正式スタート時刻 15時22分09秒)
予定走行周回数	35周 (正式フィニッシュ時刻 16時19分49秒012)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (ロベルト選手)

決勝結果：15位 (所要時間：58分02秒318=32周消化/ベストラップ：1分37秒956)

決勝スタート前のグリッドウォークも華やかに開催され、午後3時15分のスタートを迎えるころには、気温34℃、路面温度57℃、湿度45%という状況。しかも気温の上昇によって遠くに雨雲が見え隠れする状況となり、各チームとも決勝レース前に一抹の不安を抱えながら、スタートの瞬間を待つ。

交通機動隊の先導によるパレードラップを含めた2周のフォーメーションラップの後、クリーンなスタートが切られた。6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはスタートから攻めの姿勢を見せたが、1周目は冷静にポジションキープ。

しかしGT500の1台がクラッシュしたことにより、オープニングラップからセーフティカーが導入された。このセーフティカーがピットに戻った6周目からレースが再開され、同時にロベルト・メリ・ムンタン選手がひとつポジションを上げたように見えたが、そのまま6位に戻り、7周目の1コーナーで前のマシンをインからパス。5位に浮上すると10周目の100Rでインを刺し、そのままヘヤピンでアウトから前のマシンをパス。

さらにダンロップコーナーで4位の座を奪うと、最終コーナーで3位へと浮上。ピットは興奮に包まれた。しかし……。非情にも6号車に対し、ドライブスルーペナルティーの表示が出されてしまう。

セーフティカーからのリスタート時にスタートラインの手前で前のマシンを一瞬抜いてしまったことがペナルティーの原因だったが、スプリントレースだけに、これは大きな痛手となった。ドライブスルーペナルティーを消化し、16周目に25番手までドロップしたロベルト・メリ・ムンタン選手は、そこから鬼神のような追い上げを見せ、毎ラップ1台、そして1台と順位を上げ、最終的にファイナルラップで15位までポジションを戻した段階でチェッカーとなった。

◆8月2日 土曜日・レース1・決勝

ロベルト・メリ・ムンタン 選手のコメント

予選では、マシンのバランスに問題は無かったのですが、路面コンディションの変化に合わせ込めず、6番手に終わってしまいました。しかし決勝に向けてのペースには自信がありましたし、5台を抜けばトップだと思えばリラックスしてスタートを迎えることができました。決勝レースは自分のミスでチームに対して本当に申し訳ない結果となってしまいました。前のマシンとのアクセルのタイミングで一瞬前に出てしまったのですが、後の祭りでした。スプリントレースでドライブスルーペナルティーは致命的でしたね。それでも最後まで諦めずに頑張っていて、なんとかポイント圏内でフィニッシュできたことは良かったです。明日はチームメイトの片山義章選手が僕の悔しさを晴らしてくれて、勝利の美酒を飲ませてくれることを期待しています。

小倉 啓悟 監督のコメント

悔しいレースでした。シリーズチャンピオンを狙う上で、勝てるレースを失うというのはとても痛いです。もったいないレースをしてしまいました。ロベルト・メリ・ムンタン選手も落ち込んでいましたが、勝てるペースはありましたし、速い車を作ってくれたのも事実です。タイヤの評価もしっかりできましたし、ドライブスルーペナルティーの後も諦めずに追い上げてくれたことで、10台を抜き返し、0.5ポイントを加算することもできました。このペースがあれば、明日は片山義章選手が自信を持っていけるはずです。今日の悔しさをバネに、明日は予選から攻めのレースでポールポジション、そしてぶっちぎりで優勝を狙うべく、チーム力の勝負です。チームが一丸となって明日の戦いに挑みます。

古場 博之 エントラント代表のコメント

今回は持ち込みセットも問題なく決まっていたし、BOPの問題も、マレーシアまでの全てのデータをチェックし、パワーが上下に振れてもレギュレーションに違反することなく、安定した状態でレースができるようにエンジニアが良い仕事をしてくれました。決勝レースはロベルト・メリ・ムンタン選手の見事なオーバーテイクにドキドキさせられましたが、ドライブスルーペナルティーを受けたことでとても残念な結果に終わりました。が、マシンの仕上がり状態には問題はなく、タイヤのデータも収集できたので、明日のレース2に向けてはポジティブな内容だと思っています。もちろん今日のデータを分析して、明日のレース2に向けて更にアジャストし、ふたりのドライバーと共にチーム全体でひとつでも上のポジションを狙います。片山義章選手はきっとやってくれると信じています。明日の決勝に期待しています。



◆ 8月3日 日曜日・レース2・予選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	31℃ (GT300クラス予選開始時)
路面温度	43℃ (GT300クラス予選開始時)
予選開始	11時00分 (GT300クラス予選開始)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

レース2予選結果：13位（片山選手）

朝8時30分からの公式練習は気温29℃、路面温度40℃というコンディションとなり、6号車UNI ROBO BLUEGRASS FERRARIは、片山義章選手が走行開始直後から強いアンダーステアを訴えた。チームはセットアップを変更して対応したが、それでもアジャストしきれず、片山義章選手は予選用セットで全体18番手となる1分38秒158をマークするに留まった。

古場博之エントラント代表は「路面コンディションの変化にアジャストしきれませんでした。全体的にグリップが上がったことでアンダー傾向が強くなり、タイヤの表面の状態も良くなかった。予選に向けて大幅なセット変更が必要です」と語り、やや不安げな表情を見せた。

前日に比べやや雲が多いものの、富士スピードウェイは快晴。11時00分から20分間の予選では、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは5周目に1分37秒928をマークし13番手グリッドとなった。小倉啓悟チーム監督は「セットアップを外してしまいました。決勝までにデータを解析してセットアップを修正し、なんとかドライバーに頑張ってもらえる車にします」と語った。

◆ 8月3日 日曜日・レース2・決勝

天候	曇り
コース状況	ドライ
気温	32℃ (スタート時)
路面温度	42℃ (スタート時)
決勝レース開始	14時20分 (正式スタート時刻 14時20分45秒)
予定走行時間	50分間 (正式フィニッシュ時刻 15時11分43秒204)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山選手)

決勝結果：リタイア (1周消化/ベストラップ：未計測)

午後1時20分、今回のレース2では決勝前のウォーミングアップ走行が設けられていないため、ストレートを通り過ぎてピットロードを通り過ぎて10分間のレコンサスラップがスタート。片山義章選手にとっては決勝前にセッティングをチェックする最後のチャンスとなる。

エンジニアに対して無線で問題ないとコメントが届き、小倉チーム監督は胸をなでおろした。午後2時15分のスタートを迎えるころには、気温32℃、路面温度42℃、湿度65%という状況。昨日のレース1よりやや涼し気なコンディションの中、2周のフォーメーションラップの後にGT300クラス車両のみによる50分レースのスタートが切られた。

スタート直後の1コーナーの混乱で、イン側から来たマシンが止まり切れず6号車に接触。

冷静にアウト側に自ら飛び出してダメージを避けた片山義章選手だったが、その先のヘアピンコーナーで前を走るマシンがミラーを確認していなかったのか、急にアウトからインにステアリングを切り込み、6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIに激突。

その衝撃でグリーンへとコースアウトしたものの、なんとか再スタートを切ってピットまで戻った片山義章選手だったが、マシンのダメージは予想以上に大きく、そのままピットでリタイアとなった。

◆8月3日 日曜日・レース2・決勝

片山 義章 選手のコメント

今回のレースは前回優勝していた富士だけに、チームも自分も期待して挑みましたが、本当に悔しい結果に終わってしまいました。公式練習では路面コンディションの変化か、アンダーステアが強く、それをアジャストしきれないまま予選に臨むことになりました。コンパウンドの異なるタイヤで予選を迎えることはわかっていたので、ややオーバーステア気味になる方向にセッティングを振ったのですが、今度はオーバーステアが強すぎるという状態になり、期待していた順位とは異なった結果になってしまいました。それが決勝レースでのアクシデントに繋がった駄目なポイントだったのかも知れません。

決勝レースに関しては、勝てる展開をイメージしていたのに1コーナーで押し出された挙句、ヘアピンで自分の前を走るマシンがまったくこちらを見ていなかったのか、あり得ないラインでステアリングを切ってきたことで接触され、リアエアとなってしまいました。ちゃんと最後まで戦えれば、上位にいったレースだったと思います。次のレースは得意な鈴鹿ですし、しっかりと準備して勝ちにいきたいと思います。

小倉 啓悟 監督のコメント

ちょっと酷い接触事故でした。それ以上にレースを落としてしまったことが悔しくてなりません。予選でのポジションがあのアクシデントに巻き込まれる原因ではあったので、やはりもっとしっかりと上位グリッドからスタートできるようにチームとして頑張らねばなりません。鈴鹿はチームとしても得意としているので、昨日のペナルティの反省も含め、しっかりとチーム全体で話し合っ、最大限の準備を整え、今日の分は取り返したいです。今日はせっかく応援に来ていただいたファンの皆さんや、スポンサーの方々にはちゃんとしたレースをお見せ出来ずに申し訳ない気持ちでいっぱいです。

古場 博之 エントラント代表のコメント

公式練習、予選での流れは決勝で挽回できると思っていたのですが、本当に残念な結果になってしまいました。スタート直後の第1コーナーでのアクシデントは良くある出来事ですし、片山義章選手もその動きを想定してマシンにダメージを与えないようにコースアウトして戻ったのですが、ヘアピンでのアクシデントは、あり得ない動きをされたというか、後方を見ていない危険行為だと思いました。ピットに戻ってきたマシンはステアリングが切れない状態になっていたのも、残念ながらリタイヤとなりました。開幕戦での失格以来、全レースでポイントを獲得していこうとチームが一丸となって戦ってきた記録が潰れてしまったのは残念です。次の鈴鹿はテストでも良い結果が出ていますし、ふたりのドライバーも得意としているコースなので、しっかりと優勝を狙って準備していきたいと思います。



UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCove

OIRC

ヒロ デンタル クリニック
Hiro Dental Clinic

ASAHI 朝日金属株式会社

CLIMAX
SOFT99 autoservice

KOHSHIN
DRIVING SCHOOL

TONE

zahren

SASAHARA

JOTO DIRECT

PANASHOP

ニチアス

DOBOT

osmo
development

見田工作

愛知電線株式会社

Digi-Tec
INTECNO

EVER
CORPORATION

AOYAMA
ELEVATOR

MIDTOWN BBQ
STEAK & SMOKEHOUSE

H&A
Human & ARMS

DALWA

H&F

MAITY
MAITY MECHANICAL ENGINEERING SYSTEM

PACIFIC
RACING TEAM

岡田金
工業株式会社

株式会社
aif
買取協会

カトー機械株式会社

KEAST
www.kkeast.net

AOI
TRUST
C O., L T D.

VELOREX
Fueled by Ambition

Sponsor introduction

Team Le Mans